

市議会だより

15番 串木野



祇園祭

祇園祭は市の指定文化財で、1812(文化9年)八坂神社の建立とともに始まりました。活発な男山と、優雅な女山の山車が街中を練り進みます。

No.61

2017.8.7

6月定例会

9議員が市政を問う P2 最終処分場工事額を増額 ... P7
議員の政治倫理条例を修正可決... P11 541人が「議員と語る会」に参加 ... P12



下迫田 良信 議員

早急な財政改善を

財政は厳しい、事業を厳選する

問 全会計の市債残高（借金）は約312億円で1人当たり約109万円である。市長の見解は。

答 市税、地方交付税等の減、社会保障費の増が続く中、事業を厳選して抑制に努める。

問 経常収支比率は県内でワースト2位である。何か改善策は。

答 市税やふるさと納税等の歳入を確保するとともに、職員定

員適正化計画の推進、公共施設等の適正化を含めた事業の見直しを進め、財政改善を図りたいと考える。

問 義務的経費3%縮減の高い目標の財政改革は出来ないのか。

答 現在第3次行政改革大綱に基づき行政改革を行なっている。公債費の抑制等、計画ごとに目標を設定し、着実に進めて参りたい。

危険！袴田交差点の改良を 具体化できるよう検討

問 旧国道線から向井原線の交差点に入るところが最も危険が潜んでいる。改良はされないのか。

答 住宅地が密集して、多大な移転補償等もかかる。事業可能か総合的に研究したい。



危険が潜む袴田交差点

問 袴田地区の道路改良は永年の要望である。五反田川の橋梁事業費とすると微々たるものである。合併特例債等を有効活用して促進すべきと思うがどうか。

答 大所高所の観点から、何らかの方法で具体化するように検討したい。

甌島航路の今後の課題は 生活航路の維持を図る



入港するフェリーニューこしき

問 なくてはならない甌島航路は、新造船建設時がターニングポイントだと思う。航路は守れるのか。

答 主役である甌島の方々の生活航路であり、自治体間で協調・協力しあい、島民に役立つよう航路を守る事が責務と考える。



中村 敏彦 議員

市道整備、早急に まずは視距改良を

問 H26年3月議会で市道・伊倉ヶ迫線について「整備を検討する」との答弁。通勤時間帯には時間140台の通行量があり、各種大会時は数倍に上る。

7時から8時半を3日間調査

	体育館へ	3号線へ	車両計
6/6	99台	76台	185台
6/10	89台	62台	151台
6/12	117台	90台	207台

答 通行量が多く危険であることは認識している。全面改良には多額の

予算や用地確保など検討課題が多い。

問 5～6か所の危険カーブの視距改良は国体開催年度までに整備すべきと思うが見解は。

答 見通しの悪い箇所からまずは蓋板設置などで対応したい。

問 袴田2号線東側の生活道路整備は。

答 土木事業補助制度の利活用を勧めたい。



カーブの多い伊倉ヶ迫線

交通ネットワークは 今後の検討課題

問 いきいきバス・タクシーの現状と課題は何か。

答 平成27年と28年比でバスが718人（8.9%）、タクシーが309人（26.4%）の減少。

問 路線や料金など利用者ニーズとのミスマッチではないか。国も交通ネットワーク策定を求めているが。

答 コミュニティー自動車導入も併せて検討したい。

指定管理制度の在り方 公共施設の見直し検討

問 全国的には3年間で2308件の指定取り消しが発生している。図書館など文化的施設は指定管理にはなじまないとの見解もあるが、今後の対応は。

答 合併により人口比で多いとされる公共施設の見直しと並行して「あり方」を検討。

※このほか、ふるさと納税についての総務省指導、県内11自治体に本市も入っているが、今後の方向性を問いました。



福田 清宏 議員

かもめ公園グラウンド改修 今年度、補修を行う

問 整備は、いつになるか伺う。

答 公園の維持補修費で行う。

用水路(側溝)に蓋板の設置を 今後、検討する

問 市道大原・港線から串木野高等学校正門への市道御倉町6号線入口付近の用水路(側溝)の蓋板設置について伺う。

答 今後、検討する。

公園の整備(ツツジ等の剪定) 他へ移植する

問 文京町団地横の公園の道路とフェンス間のツツジ等の剪定と移植について伺う。

答 昨年9月に公園の視界改善と防犯対策を図るため、低めに剪定したが、他への移植を考える。

野平地区の道路整備 検討委員会と協議

問 野元公民館地内の道路の整備計画について伺う。

答 検討委員会発足後、協議を重ね、野元中央線に次ぐ道路整備の実施に向けて取り組む。

問 新しい橋の建設に合わせて、平江公民館地内の住宅密集地を貫く平江1号線の防災サイレン棟付近から野元橋付近までの間を野元中央線と

同様に整備する計画はないか伺う。

答 道路に隣接した住宅が多く拡幅工事が困難と思われる。生活道路として重要な路線でもあるので、今後、方法を研究する。

特定健診対象者名簿の情報共有 取り組みを進めている

問 特定健診受診率向上のために対象者名簿の情報共有を問う。

答 対象者情報の共有は重要と考え、今年度から健診受診の公表について同意欄を新たに設ける等情報共有に向けて取り組んでいる。

総合観光案内所の研修室改造 有効に活用を

問 観光客に「茶一杯どうぞ」という「おもてなしの部屋」や会議用机と椅子のある「会議室」、特産品やふるさと納税返礼品の「発送拠点」として改造できないか、伺う。

答 現在の施設を有効に活用していただきたい。



松崎 幹夫 議員

小中一貫教育について 地域との意見交換会を開催

問 小中一貫教育(一体型)のメリット・デメリットは何か。

答 メリットは、中一ギャップの緩和や不登校の解消で、デメリットは小学6年生のリーダーシップの意識の薄れなどが考えられる。

問 一体型を進めると、教職員の削減がされるのではないか。

答 校長、学校主事、司書補はそれぞれ1人ずつ少なくなるが、

教頭、事務職員、養護教諭は、小中それぞれに一人ずつ配置される。

問 PTAが自主的に先進地視察を行おうとしているが、保護者等の一貫教育に関する悩みを解消するために、「地域との意見交換会」を開催することはできないか。

答 PTA・地域との意見交換する場を設け、検討したい。

問 羽島小に特認校制度は導入できないか。

答 児童数が50人程度で推移することから、今のところ考えてはいない。

黎明トンネル本体工事は H30年秋に完了予定

問 トンネル開通後、今の県道(荒川～白浜間)はどうなるのか。

答 トンネル開通後は、市が引き継ぐことになる。羽島・荒川地区のまちづくり協議会の方々と活用について協議したい。

地域振興住宅の建設増 検討したい

問 旭・冠岳・川上地区にも建設できないか。

答 今のところ、地区からの要望は出てないが、要望等があれば地区内の市営住宅の空き状況を考慮して建設について検討したい。

問 羽島地区にさらに2棟建設はできないか。

答 来年度、市営浜西住宅の建て替え予定であり、応募状況を勘案したうえで検討したい。

スポーツ少年団の育成 広報・啓発に努める

問 団員数が少なくなっていることから、団員を増やす取組みはなされているか。

答 団員が減少していることから、各学校でのチラシ配布や市民体育大会での紹介などを行なって活動の広報・啓発に努めている。



東 育代 議員

子育て支援の拠点施設整備 検討委員会で協議

問 国は平成32年度までに子育て世代の包括的な支援センターの取り組みを推進するとしている。本市でも総合的な子育て支援の拠点施設の要望が多いが、市長の見解を伺う。

答 運営形態や総合的な子育て支援施設の役割等を踏まえて、庁内に検討委員会を立ち上げて協議していく。



すこやか子育て交流館（鹿児島市）

学校の統廃合の考え方 地域やPTAの理解が前提

問 小中一貫教育推進事業の取り組みは児童生徒数増への対策とはならない。統廃合の対象になるのではと危惧するがどうか。

答 今後、小中一貫教育の連携型を進めていくが、一体型をモデル地区の羽島中学区への導入に向けて検討していく。学校の統廃合の考え方については、毎年4月を判断基準月として学校統廃合の適否を検討している。統廃合は地域やPTAの理解が前提であり慎重に進める。

まちづくり協議会設置の成果

地域の特性を活かして進める

問 まちづくり協議会が設置され5年が経過し、独自性のある取り組みが行われている。ただ、既存の団体が活躍できることが前提であり、風通しのよい自治公民館、女性団体が地域づくりの核として、活動できる体制整備はできないか。

答 それぞれの立場の皆さんが、一つの輪になって、お互いに尊重して、まちづくり協議会の中で地域づくりを進めることが目的である。

介護の24時間サービス

積極的に推進

問 在宅医療・介護には24時間支援体制が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

答 2カ所で24時間体制の訪問看護が提供されているが、24時間の介護はない。今後積極的に推進する。



宇都 耕平 議員

川南交流センタートイレ改修 安全に利用できるよう対応

問 川南交流センターのトイレは建物の外からしか入れないため、台風等の避難所になっているが非常に危険である。安全のため建物内から入れるよう改修すべき。

答 台風等の避難所開設の際、トイレを利用する場合は一旦外に出ることになり、避難者の安全確保の配慮が必要であることから、支え合う川南みんなの会と協議し、室

内から利用できるように対応を検討する。



川南交流センター

ふるさと納税の現状は 寄附増額に努力する

問 楽天、ANA等のふるさと納税サイトへの加入効果はどうか。

答 短期間の受付にもかかわらず、両サイト合わせて平成28年度の全体の約2割の寄附金を賜っている。

問 返礼品（市特産品）をネット通販する考えはないか。

答 現在ネット通販を実施している自治体の取り組み等を参考に今後研究する。

地域おこし協力隊の増員

導入の必要性で判断

問 8月で5名になるとのことであるが、10名は必要と考える。報酬、活動費等で1人当たり400万円が国から交付されることから、広く人材を確保して本市発展に寄与できると考えるがどうか。

答 まちの活性化のために今後の導入については、検討する。

子ども食堂の開設

要請があれば対応・研究する

問 食彩の里や、まちなかサロンに、子どもたちのために「子ども食堂」を開設する考えはないか。

答 県下19市のうち7市でいずれも民間で17カ所が開設している。現在、市による「子ども食堂」の開設は考えていないが、支援要請があれば事業内容を調査して研究する。



福田 道代 議員

安定ヨウ素剤の事前配布を 引き続き、県に要望する

問 原発から30キロ圏内に暮らす市民の防災対策の一つとして安定ヨウ素剤の事前配布を行うべきと考えるが、市長の見解は。

答 医師、薬剤師等の確保や、安定ヨウ素剤の購入、3年ごとの更新に係る市の財政確保などの課題もあり、現在は市独自での事前配布は考えていない。しかし、県知事に対しては安定ヨウ素剤の事前配布

を検討すべき要望書を提出しており、今後も要望を続ける。

防災センターの位置づけは 防災意識の向上を担う施設

問 本市に建設予定の防災センターはどのような機能を備えた施設を計画しているのか。

答 災害時の迅速な対応と充実を図るため、災害対策本部機能と物資備蓄機能をあわせ持つ施設として整備する。



防災センター建設予定地（市役所敷地内）

戸別所得補償制度の復活を 支援措置を引き続き要望

問 農業者の戸別所得の補償制度の復活を求める声があるが、

国に要望すべきではないか。

答 本市も全国市長会を通じ国に対して、現行制度の存続を求める意見を踏まえ、農業者が営農意欲を失うことなく、持続的に農業経営に取り組めるよう、米価下落等に対するセーフティネットの整備など、万全の支援措置を講ずるよう要請している。これからも引き続き要請していく。

国保税の広域化による推移 上がると予測される

問 国民健康保険が広域化になることで、本市の国保税はどのようになるか。

答 平成30年度から国保運営は県を中心として市町村と共同で運営することになります。一人当たりの医療費の額は県内で2番目、一人当たりの国保税額は県内で15番目ということは、今よりも国保税が上がるかと予測される。



西別府 治 議員

ひばりが丘西側道路は 地権者の同意で建設進める!

問 緊急車両の進入が出来ず、高齢化による防災上の不安がある地域の道路改良について。

答 この地域は幅員が約3メートルの市道栗屋田線があるが、全体的に拡幅工事を行うのは困難である。

問 串木野警察署裏の市道別府・島平線からの東西道路を新設することで防災上の懸案は解決すると思うがどうか。

答 地権者の方々の同意が得られれば、道路の建設を検討する。

棚田のオーナー制度は 体験サービスとして検討

問 串木野駅から5分の金山蔵の先にある、深田上の棚田を棚田米の返礼品と農業体験を含んで、ふるさと納税として活用できないか。

答 人はふるさと志向で故郷の山河たずね回帰する。返礼品のプロジェクトチームを立ち上げているので、返礼品と農業体験サービスがある棚田オーナー制度も検討していきたい。



串木野駅から車で5分の棚田

企業版ふるさと納税の活用 研究をしていく

問 平成28年度に地方創生応援税制「企業版ふるさと納税」が創設されたが、その活用は。

答 本市の「まち・ひと・しごと」総合戦略の施策の検証を行う中で、企業版ふるさと納税の活用が可能なプロジェクトや民間企業の寄附の働きかけなどについて研究する。

問 総合戦略の薩摩藩留学生渡欧の地として、特色を生かした「英語のまち」で英語検定に世界50か国で活用され、自分の英会話能力の世界ランキングが解る「英語試験TOEFL」を加えることで、「企業版ふるさと納税」を判断する内閣府で認定されるのでは。なお、「TOEFL」は本市で受けられます。

答 幅広いサービス面の工夫もすべきである。「英語のまち」を志高くした面でも関わっていき、ふるさと納税10億円を目指して頑張る。



大六野 一美 議員

平成29年度当初予算について 積極果敢に取り組む

問 少子高齢化がいちばん大きな喫緊の課題である。大胆な施策が必要ではないか。

答 人口減少と少子高齢化、地域活性化など山積する課題に対して真正面から向き合い、本市の地域特性や可能性を最大限活かし、積極果敢に取り組む。

西岳線の道路整備 整備に向け取り組む

問 本市観光の拠点は西岳から冠岳一帯だと思うが、西岳線の道路整備について伺う。

答 本市の観光の拠点は冠岳であり、山岳仏教の発祥の地でもある。今年の暮れにJRが冠岳を特集に組んで、「プリーズ」というパンフレットが13万部発行される予定である。それには冠岳の道路整備が具備すべき条件でありますので、つぶさに見て、道路整備に向けて取り組んでいきたい。



西岳線

冠嶽園の整備

現状確認して最善の策を講ずる



冠嶽園内の柱

問 冠嶽園が老朽化している箇所が見受けられるが、管理と整備状況について伺う。

答 指定管理者と連携を密にして、毎月の報告、緊急を要する時は報告を受けている。また、職員も適時巡回して管理している。平成25年にシロアリ駆除と腐り部分を改修をしており、部分補修、柱根継ぎ補修などで対応可能と判断をしている。今の現状を捉えながら最善の策を講じていく。

議員と県知事との意見交換会

去る5月27日(土)市役所の会議室において、議員と三反園県知事との意見交換会が開催されました。



議員 子育て支援に関して、子ども医療費の窓口無料化への取り組みについて。

知事 乳幼児の医療費無料化という方針は決まっている。今後、有識者会議で検討していく。

議員 市民安全の考えから、桜島の風向きと同様に、原発の風向き情報を天気予報等で出していただきたい。

知事 検討してみます。

議員 安定ヨウ素剤の事前配布と再生可能エネ

ギーへの転換についての県の考えは。

知事 安定ヨウ素剤については、専門委員会で意見を聞いていく。また、再生可能エネルギーについては、資源再生エネルギー推進委員会をつくって、具体的に推進していく考えである。

議員 明治維新150周年記念と大河ドラマ「西郷どん」を絡め、鹿児島空港の愛称を「西郷どん空港」にしてはどうか。

知事 いろんな意見が寄せられていることから、最終的には明治維新の実行委員会で決められる。

議員 一次産業の漁業農業について、高齢化率が一番高いことから後継者不足が懸念される。

知事 これまで培ってきたノウハウにプラスして、ITとAIを組み合わせながら、収益性の高い農業をつくっていく。先を進む鹿児島にしたい。

議員 黎明トンネルの早期の開通と、景観を活かして旧道の利活用をお願いしたい。

知事 その通りだと思います。

最終処分場施設

6,345万円の追加工事

(詳細は P9 ページに記載)

6月議会 (第2回定例会)

会期 6月8日～6月30日までの23日間

提案された議案等

条例等議案 …… 8議案

補正予算議案 …… 2会計

平成29年度補正予算

地方創生人材支援制度活用事業 …… 598万円

国の地方創生人材支援制度による総務省からの職員受入れに係る給与費等。

任期

平成29年7月1日～平成31年3月31日

勤務内容

地方創生統括監として政策課で勤務し、地方版総合戦略あるいは人口ビジョンの趣旨に沿って、地域活性化、産業の活性化及び人口減少対策等に取り組む。

移住定住促進事業 …… 150万円

一般財団法人地域活性化センターの助成事業を活用して、借り上げた体験住宅の家財等を整備し、施設の活用による本市への移住定住の促進を図るもの。

お試し移住体験住宅予定地

- ・カッチェルに1ブース
- ・羽島地域に貸家を確保

問 カッチェルの入居者は、神村学園の留学生又は企業への外国人研修生が入居すると理解していたがどうか。

答 国に交付金を申請する段階で、神村学園留学生、市内企業への海外からの技術研修生、移住定住に向けたお試し居住者等を想定して、事業の認定を受けている。

海外貿易商談会出展助成事業 …… 88万円

8月17日から19日にかけて、香港で開催される見本市 (FOODEXPO香港2017) に出店する会社3社に助成する。



26ヶ国から1391の企業・団体社と60ヶ国からバイヤー2万人、一般来場47万人が来場。(香港)

公民館建設整備事業補助金 …… 100万円

薩摩山公民館、袴田公民館及び海瀬公民館の改修に係る事業の補助金。



袴田公民館

コミュニティ事業助成金 250万円

れいめい羽島協議会の「夏祭り用やぐらステージ及び提灯」の備品購入に対する助成金。

問 コミュニティ助成事業の助成区分は。

答 大きく分けて、一般コミュニティ助成事業、コミュニティセンター等の整備事業、地域防災組織育成助成事業、青少年健全育成助成事業等がメニューとなっている。

日曜祝日夜間在宅当番医制事業 296万円

日曜祝日夜間の救急患者の医療を確保する事業の委託料の追加。

これまで24時間体制であったものを、医師会の決定により、平成29年度から、午後10時から翌朝8時30分までの深夜時間帯を短縮して実施することになった。

平成28年度の時間単価1,300円を基本に、深夜帯の時間短縮分を減額して予算計上していたが、この事業を実施するに当たり、医療機関の負担や他市の委託料状況等を勘案して、休日昼間の時間帯を2,000円、夜間帯を2,500円に見直した。



体育センター管理費 233万円

串木野体育センターの樹木ワシントンパーム（12本）撤去に係る経費。



串木野体育センターのワシントンパーム

農業・農村活性化推進施設等整備事業

..... 2400万円

萬福池上流側の用水路は、老朽化による漏水や、山林内を通る開水路であるため、豪雨等の際は、枝葉等による「つまり」等が発生し、越水により水路法面の崩壊が著しい状況であった。その解消のため、開水路から波型パイプに変更し、用水の安定供給と維持管理費の節減を図る。



開水路に溜まった枝葉等を撤去



開水路から波型パイプに変更

観光スポットみがきあげ事業 480万円

観音ヶ池市民の森等の観光スポットを、年間を通して誘客できる魅力ある観光地として整備する。

問 市内全体の観光スポットをどのように整備し、観光スポットみがきあげ事業と関連付けていくのか。

答 観光スポットみがきあげ事業では、平成26年度に策定した観音ヶ池周辺整備計画をより具体化し、あわせて観音ヶ池を含めた市内にある観光スポットをより魅力的に線で結び、自然、歴史、文化等の背景をうまく活用した観光ルートづくりを行うことで、交流人口の拡大を図りたい。

委員の意見

これまでの観光ルート等も活用した整備を行ってほしい。また、現在、観光情報の発信場所が点在しているため、市が観光情報を集約し、情報発信基地としての中心的な役割を担ってほしい。



観音ヶ池市民の森

公共下水道事業特別会計

串木野クリーンセンターの工事は、水処理施設の機械設備を、主に改築を行う計画であり、当初、単年度ごとに事業を行い、整備していく計画であったが、品質管理上単年度で行うことは難しく、現地から機器製作、機器の撤去据付及び試運転までの一連の工事として、実施する必要があることから平成30年度の債務負担行為を設定する。

条例の制定・改正

配偶者控除・配偶者特別控除の見直し

市税条例の一部改正

主な改正

○個人住民税関係

配偶者控除の対象者について、配偶者の合計所得金額が38万円以下は控除を受けられていたものを、生計を一にする居住者の所得が1000万円を超えると配偶者控除の適用がなくなる。また、配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得金額の上限の引上げ。

○軽自動車関係

グリーン化特例の期間を2年延長するほか、平成28年に発覚した自動車メーカーの燃費不正行為に伴う軽自動車税の不足額について、自動車メーカーに納

税義務を課する措置を講ずる。

問 配偶者特別控除額の見直しに伴う本市の影響額は。

答 現在、配偶者特別控除の対象者が488人であるが、今回の改正により、対象者が1200人となり、税収は約1200万円の減収が見込まれるが、全額国費で補填される。

国保税 軽減判定基準の見直し

低所得世帯に係る軽減の拡充を図るための軽減判定基準の見直し。

軽減判定所得

- ・7割軽減・・・変更なし
- ・5割軽減・・・26万5千円⇒27万円
- ・2割軽減・・・48万円⇒49万円

影響額

新たに2割軽減を受ける世帯が、25世帯で36万円、2割軽減から5割軽減になる世帯が、14世帯で約32万円、合計39世帯で68万円の減を見込む。

第1段階の保険料率を継続

平成27年度から平成28年度まで軽減していた介護保険料の第1段階の保険料率を、平成29年度も継続する。

第1段階の対象者1957人で約700万円の減を見込む。

最終処分場6,345万円の追加

最終処分場建設工事請負変更契約の締結

最終処分場の土木工事において、盛土材として使用する改良土の数量などに変更が生じたため、請負金額を6345万円追加し、変更後の契約金額を9億1640万円にする。

問 事前のボーリング調査は10箇所で十分だったのか。

答 当初、7箇所のボーリングを計画していたが、現地調査を踏まえ、10箇所に増やした。工事の施工面積、構造物の種類に応じて、一定の基準、考え方に基づいて、経済的、合理的に必要な最小限の地点を調査した。



最終処分場建設予定地

問 これまでの請負変更契約により、約1億1000万円を追加されたが、市民にどのように説明するのか。

答 機会をとらえて、十分理解が得られるよう丁寧に説明をしていく。



教育民生委員会現地視察

問 大規模事業の進め方として、基本計画を作成し、測量調査を行い、地質調査を実施した結果を基に、実施設計に入るといふ段階を踏むべきではないか。

答 実施設計にあたっては、ボーリング調査等を行う場合や、重点的に測量してほしい場所等、実施設計を行う業者からの意見を求め、協議しながら作業を進めるために、同じ時期に発注したが、今後は、より慎重に、また、現場がスムーズに進むように実施したい。

議会関係議案の制定・改正

市議会委員会条例の一部改正

改正内容

平成 26 年度から児童手当に関する事務が市民課から福祉課へ移管され、また、平成 29 年度からふるさと納税推進事業に関する事務を食のまち推進課が総括することに伴い、関係する常任委員会の所管に属する課の変更を行う。

市民課

教育民生委員会 ⇒ 総務委員会

食のまち推進課

総務委員会 ⇒ 産業建設委員会

議会基本条例の一部改正

改正内容

いちき串木野市議会議員の政治倫理条例を制定するにあたり、条文の整備を行う。

市議会議員の政治倫理条例の制定

制定の目的

いちき串木野市議会議員が市政に対する市民の信頼に応え、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与し、更なる議会改革のため条例を制定する。

市議会議員の政治倫理条例施行規則の制定

制定の目的

いちき串木野市議会議員の政治倫理条例の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定める。

議会運営委員会

「議案第 95 号いちき串木野市議会議員の政治倫理条例の制定」と「議案第 96 号いちき串木野市議会議員の政治倫理条例施行規則の制定」の 2 議案が、平成 28 年第 4 回市議会定例会（12 月）において、8 名の議員から提出があり、本委員会に付託されました。

平成 28 年 12 月 26 日から平成 29 年 6 月 20 日まで、計 8 回にわたり委員会を開催し、書類審査が行なわれました。

政治倫理条例のポイント

議員提出された条例

地方自治法では、議員本人又は議員が役員等になっている法人は、市との請負契約ができないことが定められていますが、今回、議員提出された政治倫理条例は、議員本人のみならず対象となる範囲を 3 親等（兄弟姉妹や甥姪）に拡げ、さらに請負契約の相手を市のほかに、市が出資している団体や市が補助を行なっている団体まで拡げることを遵守事項としております。

このほか、この条例に違反する疑いがある場合は、選挙権を有する総数の 100 分の 1 以上の連署で議長に対し審査請求することができることとしております。

委員提出の修正案

条例案の審査過程で、法律専門家等の助言を求めたところ、規制の対象範囲は法律的に 2 親等（兄弟姉妹まで）が妥当であるとの見解が示され、また、請負契約の相手としては、市が補助を交付する団体すべてではなく、補助金の額で判断すべきとの見解が示されたため、委員から修正案が提出されました。修正案の内容は、法律専門家等の助言を基にしたもので、規制の対象範囲を「3 親等」から「2 親等」に改め、遵守事項を努力事項にするとともに、請負契約の相手のうち「市が補助を行なっている団体」を「市が運営費補助金 100 万円以上を交付する団体」に改めるものでした。

○委員会での採決結果

修正案を賛成多数で可決。

○本会議での採決結果

修正案が賛成多数で可決され、結果、議案第 95 号及び議案第 96 号は修正可決されました。

文部科学省「小中一貫推進事業」 羽島中学校区公開研究会

7 月 5 日（水）小中一貫教育での指導の改善に向けた、各学校や地域の取組、成果及び課題等の情報の共有を目的とする、公開研究会がモデル校区である羽島中学校で開催され、本市議員も参加しました。



公開研究会の風景



授業風景

第10回「議員と語る会」を開催

5月15日～20日にかけて市内16会場で、議員と語る会を開催しました。語る会には昨年度より33人多い、延べ541人の参加があり、本市が抱える課題等についての意見、質問等のほか、身近な要望も多く出されましたので、その内容について報告します。また、アンケート調査を実施し、皆様から多くのご意見・ご感想もいただきました。

これらのご意見等につきましては、今後の議会活動に活かして参ります。皆様のご協力に感謝申し上げます



上名交流センター

議会に対する主な意見要望とその回答

人口減少対策について

問 周辺部の高齢化・人口減少傾向に対して議員はどのように考え、どのような政策を持っているか。

答 人口減少対策は喫緊の課題でもあり、一般質問や委員会審査を通してそれぞれの議員が政策提言していますが、克服するには、現状を把握して特色や状況に合った独自の施策の展開が必要であります。

議員定数・報酬について

問 議員は定数減になるが、今後の議会の対応は。

答 定数減にはなるが、議員個々の資質をさらに高め、市民の付託に応えるよう努力していきます。

問 議員定数が削減されたが、皆さんには市内全体を見て活動していただき、若い子育て世代が議員となり直接声を届けるため、その為には議員報酬の増額が必要ではないか。

答 議員定数等調査特別委員会において、若い方が立候補しやすい環境を整えるためには、生活給に見合った議員報酬についての意見も述べられています。今後、議会として検討していく必要があると考えています。



川上交流センター

ふるさと納税について

問 ふるさと納税については、議員も一緒になってやってほしい。

答 県内・県外の先進地の取組状況等を調査して、その内容を当局にもつなげています。市も返礼品等の充実を図り、拡大強化に取り組んでいます。今後もいろいろと提案していきます。

市長に対する主な意見要望とその回答

市民の皆さんから出された市に対する意見・要望等については、議長から市長に対処方の申し入れを行いました。回答の一部を報告します。

まちづくり関係

問 公民館改修補助の事業費50万円以上の額を下げしてほしい。公民館も高齢化でお金がない。

答 公民館改修については、新築、改築、補修など高額負担を軽減するため、50万円の工事費等が実質34万円で実施できる制度であることから、ご理解いただきたいと考えます。



本浦交流センター

健康・福祉関係

問 市の医療費は県内で1位か2位であり、国民健康保険が平成30年から県で統一され、医療費に応じた課税がされると高くなると心配する。どのような対応をするか。

答 本市では、生活習慣病の放置や治療中断によって生活習慣病が重症化し、高額な医療費となる人が多いことが高医療費の主な要因となっています。このため生活習慣病の中でも糖尿病に着目した、「糖尿病性腎症等重症化予防事業」等に取り組むとともに、早期発見・早期治療の要となる特定健診の受診率向上のため、まちづくり協議会等のご協力をいただいて受診勧奨を図るなどしています。

環境・衛生関係

問 周辺に空き家が増えた。効果のある空き家対策を望む。

答 平成29年度から空き家バンク、リフォーム等補助制度を創設し、利活用の促進を図っています。また、空き家等の解体においても、解体撤去工事の補助を行うなど、空き家周辺の住環境の整備を積極的に行っていきます。

食まち・商工・観光関係

問 黎明トンネル開通後の旧道を観光の面で活用するアイデアはないか。

答 黎明トンネル開通後に旧道を市道として引き継ぐこととなりますので、今後荒川地区まちづくり協議会並びにれいめい羽島協議会や関係団体と協議を行い、観光資源を活用した整備方針を研究してまいります。

消防・防災・防犯関係

問 交通安全の啓発活動（旗の波）で大原交差点に人が多くて見通しが悪くてあぶない。

答 市としては、通学時の子どもを始めとする市民の交通事故を1件でも減らしたいとの思いで、関係機関と合同で年2回、旗の波による啓発行動を行なっていますので、趣旨をご理解頂けたらと思います。

教育関係

問 新しい学校給食センター出来るが、市来の学校給食センターの活用策は。

答 平成31年9月の開設を目途に、串木野・市来の両給食センターを統合した新学校給食センターの建設事業を推進しており、市来学校給食センターの建屋は、新学校給食センターの完成後に地域の活性化につながるような事業を行う民間等へ譲渡する方向で進めています。

国民宿舎関係

問 国民宿舎吹上浜荘と温泉センターの今後の見通しはどうか。

答 吹上浜荘及び温泉センターについては、国民宿舎利活用等検討委員会において、協議、検討した結果、民間業者に譲渡することとしています。譲渡時期は平成30年4月1日（予定）

平成28年度政務活動費使途状況

政務活動費は、議員の調査研究活動などに要する経費の一部として、議員個人に交付されています。平成28年度の議員の支出状況は、次のとおりです。

政務活動費は、議員1人に月額1万円（年額12万円）が交付され、使用額が交付額に達しない場合、残額は返納しています。（交付額を超えた場合は自費負担。）

（単位：円）

議 員 名	支 出 額	左 の 主 な 支 出 内 容		
		項 目	金 額	具 体 的 支 出 事 項
松崎 幹夫	0			
福田 道代	120,000	研 修 費	133,860	自治体学校・市町村議会議員研修会（神戸市）
田中 和矢	0			
平石 耕二	0			
西中間 義徳	50,338	調 査 研 究 費	42,238	研修会（水産庁）
		資 料 購 入 費	8,100	教育新聞
中村 敏彦	120,000	資 料 作 成 費	106,169	パソコン、インク代
		広 報 費	59,362	広報紙発行
		資 料 購 入 費	24,005	書籍代
大六野 一美	48,850	調 査 研 究 費	48,850	行政視察（兵庫県洲本市）
楮山 四夫	51,082	広 報 費	25,000	広報紙発行
		資 料 作 成 費	20,059	カメラ
		そ の 他	6,023	書籍代、インク代
西別府 治	68,158	調 査 研 究 費	42,238	研修会（水産庁）
		資 料 作 成 費	25,920	カラープリンター
濱田 尚	0			
東 育代	40,949	広 報 費	30,000	広報紙発行
		資 料 作 成 費	10,949	インク代
竹之内 勉	9,024	資 料 購 入 費	9,024	書籍代
寺師 和男	0			
下迫田 良信	65,806	調 査 研 究 費	48,850	行政視察（兵庫県洲本市）
		資 料 購 入 費	16,956	書籍代
原口 政敏	0			
宇都 耕平	42,238	調 査 研 究 費	42,238	研修会（水産庁）
福田 清宏	43,738	調 査 研 究 費	42,238	研修会（水産庁）
		資 料 購 入 費	1,500	書籍代
中里 純人	10,972	資 料 作 成 費	2,570	インク代
		資 料 購 入 費	8,402	書籍代
合 計	671,155			

※議員ごとに支出額の大きい3項目を抽出し、4項目以上の場合はその他欄にまとめて掲載してあります。

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会から、地方自治の発展に寄与した功績により、20年以上の永年勤続議員として宇都耕平議員（写真左）、10年以上の永年勤続表彰議員として大六野一美議員（写真右）が受賞され、表彰状の伝達式が6月20日に議場で行われました。



第2回定例会（6月）の表決結果

1. 全会一致で可決された議案等

（1）条例

- ・いちき串木野市議会委員会条例の一部改正
- ・いちき串木野市議会基本条例の一部改正
- ・専決処分の承認（2件）
- ・いちき串木野市税条例の一部改正

- ・いちき串木野市情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正

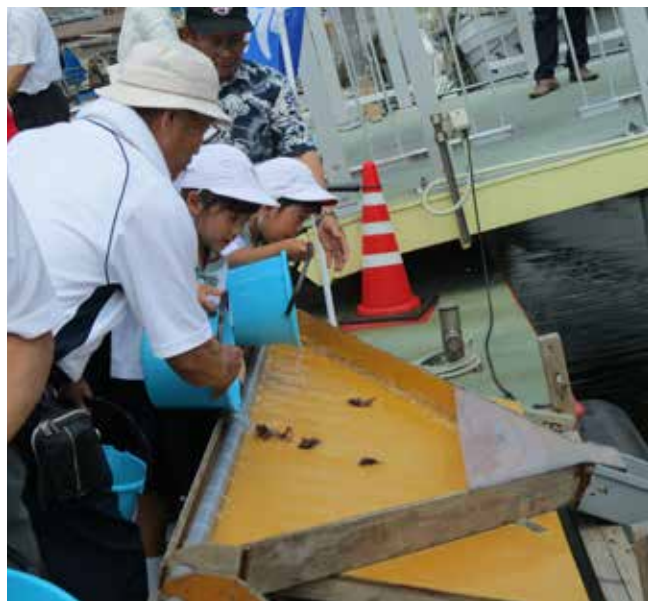
- ・いちき串木野市介護保険条例の一部改正

（2）予算

- ・一般会計補正予算（第1号）
- ・公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

2. 賛否が分かれた議案等（○は賛成、●は反対、※は除斥）

(議員氏名)		松崎幹夫	福田道代	田中和矢	平石耕二	西中間義徳	中村敏彦	大六野一美	楮山四夫	西別府治	濱田尚	東育代	竹之内勉	寺師和男	下迫田良信	原口政敏	宇都耕平	福田清宏	中里純人
議案名	一般廃棄物管理型最終処分場建設工事請負変更契約の締結 (可決)	○	●	○	○	○	○	●	○	※	○	○	○	○	○	○	●	○	議長職のため表決に参加しない
	議案第95号いちき串木野市議会議員の政治倫理条例の制定 (修正可決)	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●	
	議案第96号いちき串木野市議会議員の政治倫理条例施行規則の制定 (修正可決)	○	●	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●	



豊かな海づくり・カサゴの稚魚放流（1万匹）



長崎鼻プール開き

議会の動き（平成29年5月～平成29年7月）

（5月）

- 11日 議会運営委員会
- 15日～20日 「議員と語る会」
- 18日 議員研修会（第17回）
- 23日 九州市議会議長会理事会
鹿児島県市議会議長会臨時総会
- 24日 全国市議会議長会定期総会
- 25日 市議会議員共済会代議員会
- 27日 意見交換会
（知事と語る車座対話）
- 29日 議会運営委員会

（6月）

- 26日 議会運営委員会
- 8日～30日 平成29年第2回定例会
- 15日、16日 一般質問（9人）
- 20日 議案質疑
議会運営委員会
- 21日 総務委員会

- 22日 教育民生委員会
- 23日 産業建設委員会
- 28日 議会運営委員会
- 30日 本会議（閉会）
第113回議会広報特別委員会

（7月）

- 12日 千葉県君津市議会議員行政視察
- 20日 議員研修会（第18回）
議会運営委員会
第114回議会広報特別委員会
- 26日 第115回議会広報特別委員会
- 27日 鹿児島県市議会議長会（出水市）

議会傍聴にどうぞ
車椅子のまま傍聴できます

次回の議会は**8月24日**からの予定です。
市のホームページから生中継でご覧いただけます

編集後記

「議会だより」広報委員会では、市民の皆さまに親しんで読んで頂けるように、常に改善をしてきました。活字の大きさや、昨年からオールカラーを機に、一般質問では、内容に添った写真やイラストを入れたりして、読みやすい工夫をしています。市民の皆さまが、「議会だより」を片手に、編集の内容に「うん、よかね」「まあまあ」「ぶんとじゃ」と、つぶやくさまを思い浮かべながら、よりよい紙面づくりに頑張っていきます。

（西中間義徳）

議会広報特別委員会

委員長	中村敏彦
副委員長	西中間義徳
委員	濱田尚治
〃	西別府治矢
〃	田中和
〃	福田道代